「メンター研修」を中心とした、若手教員の育成を目指す短時間で行う校内研修の事例

|  |
| --- |
| 研修名：道徳科において「読み物資料」の資料分析方法を身に付ける研修 |

|  |
| --- |
| 目　的：道徳科の授業展開を考える際の手がかりをつかむための資料分析の方法を身に付け、道徳の教材研究の在り方について学ぶ |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学校種 | 中学校 | 研修時間 | 30分 |
| 対　象 | （メンティ）：道徳の教材の活用がうまくいかずに悩んでいる若手教員（メンター）：道徳に関する知識・経験が豊富で、各校の道徳の実践において中心となり得る中堅・ベテラン教員（道徳教育推進教師など）※経験年数や年齢バランスを考慮した３～４名のグループを作っておく。 |
| 配付物 | ・道徳教育の進め方～京都式ハンドブック（京都府総合教育センター）～・サンプル読み物資料　※著作権の問題があるので、文科省発刊のものが望ましい・ワークシート（分析図） |

■　展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時　間 | 主　な　内　容 | 備　考 |
| ２分４分15分５分２分２分 | １　オリエンテーション　ミニ研修の目的を確認する。２　資料分析の方法を説明（京都式ハンドブックを参考に）(1) 読み物資料がよく使われる理由(2) 教材選択のポイント及び教材を使う際の注意点３　資料の分析図の作成（サンプルの読み物資料を準備）（分析図：主人公の行為や心情の変化を場面毎に整理したもの）主人公の行為や心情等を整理した構造図を自分なりにつくり、それをもとに資料分析を行う。※サンプルの読み物資料は、読むのに時間がかかると分析図を作成する時間がなくなるので、この研修では小学校低～中学年程度のものを準備すると良い。４　グループ交流各自が考えた分析図をグループ内で交流５　作成例の提示資料の分析図例を提示し、各自が考えたものと比較する。※分析図に正解はなく、指導書等に書かれているものがすべてではない。そのため、目の前の児童生徒の実態に合わせ、選択する資料・分析図・発問等が変わるものである。６　まとめ(1) 分析図をもとにすることによって、発問が考えやすいことを振り返らせる。(2) 道徳の教材研究・授業計画は、各教科における授業づくりにもつながる部分があることを確認し、研修のまとめとする。 | ※この研修で身に付けて欲しいことを伝える。※発問をイメージしながら、価値の自覚前・自覚時・自覚後に分けて整理　する。※類似点や相違点に着目する。※類似点や相違点に着目する。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 期待される成果 | 道徳の資料分析の基礎を学ぶとともに、自分以外の教員の発想等を道徳の授業展開の構想に生かすなどの効果が期待できる。 |